

助太刀が教育事業参入

10月から職人向けサービス

新たなキャリアパス後押し

建設人材マッチングプラットフォームフォームを運営する助太刀は25日、教育事業に参入すると発表した。職人向けに教育サービスを提供する「助太刀学院」を10月に開校する。職人が施工管理などの新たなキャリアパスを実現することを後押しする。他業界からの入職機会

も創出し、建設業界の人手不足への貢献を目指す。

開校時点では、オンライン併用型の対面講座で提供する。特別教育のうち5科目の講習から提供を開始。2025年度には特別教育20科目や施工管理受験対策講座の開設を目指す。

現状では現場入場に必要

な特別教育を1科目取得する場合、一般的には数週間先の講習を予約し、1日現場を休んで特別教育を修了する必要がある。これらの講習をオンデマンドで提供する。オンデマンド配信は25年春からを予定する。将来的には、デジタル資格証で助太刀アプリと情報を連携し、資格情報を活用した新規取引先の獲得など可能にしていく構想だ。

詳細は、助太刀学院サイト(<https://suke-dachi.jp/academy/>)へ。

